

ニホンジカ捕獲対策の推進

(環境局自然保護課)

1 要 旨

生息密度が高く生態系への影響や農林業被害が深刻なニホンジカについて、第二種特定鳥獣管理計画（第5期、令和4～8年度）に基づき、過去最多となった令和3年度の捕獲頭数を維持して適正な個体数管理を推進する。

令和5年度は、奥山等捕獲困難地における捕獲業務の拡大やドローン等DXを活用した効率的かつ効果的な捕獲活動を推進するとともに、引き続き、捕獲従事者の技術レベルに応じた研修会等を開催し、捕獲従事者を確保・育成する。

2 概 要

(1) 捕獲頭数(目標及び実績)

(単位：頭)

年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目 標	実 績	目 標	実 績	目 標	
伊豆	狩 猟	3,500	2,868	4,100	集計中	4,100
	有害捕獲(市町)	3,000	2,909	2,750	集計中	2,750
	管理捕獲(県)	6,900	9,323	9,100	7,656	9,100
	計	13,400	15,100	15,950		15,950
富士	狩 猟	1,800	1,102	1,200	集計中	1,200
	有害捕獲(市町)	3,300	2,246	2,100	集計中	2,100
	管理捕獲(県)	6,550	4,391	4,350	3,972	4,350
	計	11,650	7,739	7,650		7,650
富士川以西 管理捕獲(県)		(20) 430	(10) 889	(10) 620	(5) 1,428	(10) 620
管理捕獲(県)計		13,880	14,603	14,070	13,056	14,070

※ 富士川以西地域の上段の()は、「南アルプス生態系保全事業」の捕獲頭数で内数。

(2) 令和5年度の取組 (当初予算：野生鳥獣緊急対策事業費 318,000 千円)

事 業	内 容
管理捕獲	伊豆地域 管理捕獲の推進 9,100 頭 うち奥山等捕獲困難地における捕獲拡大 1,100 頭 (205 頭増)
	富土地域 管理捕獲の推進 4,350 頭 うち奥山等捕獲困難地における捕獲 1,100 頭
	富士川以西地域 高密度地区での管理捕獲 610 頭 うち奥山等捕獲困難地における捕獲拡大 200 頭 (167 頭増)
DXを活用したニホンジカ捕獲	ドローン等の活用による捕獲効果の実証等
担い手育成研修	捕獲従事者の技術レベルに応じた研修会の開催 学生向け狩猟免許試験予備講習会の開催
ワイルドライフ・マネジメント(生息密度)調査	生息実態調査による個体数の推定等